

明日 への 話題

真のアセットオーナーとしての 個人投資家



SMBC日興証券
代表取締役社長

こんどう ゆういちろう
近藤 雄一郎

夏が終わり、今年も残り3か月となった。今年は、新型コロナウイルスの世界的拡大が人々の生活様式に大きな変化を齎すとともに、春先からの株式、金融市場にも多大な影響を及ぼした。

日米欧をはじめとする各国政府、金融当局による巨額の財政出動や金融の大幅緩和など、前例のないスピードでの果断な対応もあり、現在のマーケットは落ち着きを見せている。

しかしながら、各国の4～6月期実質GDPを見るとサプライチェーンの強制的な分断もあり、米国で前期比年率約32%減、日本でも約28%減と戦後最大の落ち込みを見せるなど、实体经济は深く落ち込んでいる。

斯かる状況下、機関投資家は企業との対話を継続し資産の成長に努めているが、その資金の究極的な出所、即ち「真のアセットオーナー」である個人はどうであろうか。

日銀の資金循環統計によると、3月時点で日本の個人金融資産は、未だ1,000兆円が預貯金として眠っており、株式などの有価証券は僅か270兆円。そして預貯金の個人金融資産に占める比率も概ね半分と、過去から変化は見られない。この10年弱、異次元の金融緩和をはじめとしたアベノミクスが推し進められ、NISAの導入など「貯蓄から資産形成へ」の政策の流れが後押しされたにもかかわらず、である。多くの個人は年金などを通じ、無意識に資本市場に参加しているばかりで、主体的に参加する個人投資家の裾野は十分に拡がらなかった。直接金融に携わるものとしてまだまだ努力が足りないと感じている。

コロナ禍で新しい生活様式に対応したサービスが次々と生み出される中、新たな成長企業群を形成するためには、厚みのある資本市場が欠かせない。我々は、プロの金融仲介者として個人投資家の代弁者ともなり、健全な資本市場を創り上げる義務を負う。そして、その成長の果実を社会に循環させることを通じ、人生100年時代の豊かな人生に貢献したいと考えている。

当社では投資初心者に向けたサービスとして、企業経営者のインタビュー記事などから直接株式投資ができる「日興FROGGY（フログギー）」において、100円から投資ができるサービスを拡充した。おかげさまで、本サービスを通じて様々な企業を知って頂き、多くのお客さまに株式を購入頂いている。

これからも、健全な資本市場の発展を、豊かな人生・社会の実現につなげるという我々の社会的使命を果たし、世界がコロナによる困難から立ち上がる一助になりたい。